

令和6年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：日野コミュニティセンター（みのでホール）

指定管理者名：日野コミュニティセンター管理運営委員会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入			0		
	自主事業収入			0		
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	9,850,000	7,999,038	1,850,962	8,448,664	
	その他収入	20,000	11,697	8,303	13,632	
	収入総額	9,870,000	8,010,735	1,859,265	8,462,296	
支出	人件費	3,093,000	3,135,022	-42,022	3,061,358	
	事務費	320,000	204,053	115,947	294,668	
	管理費	2,300,000	1,976,220	323,780	2,622,360	
	自主事業経費	-	-	-	-	
	光熱水費	3,030,000	1,858,886	1,171,114	1,650,362	
	リース料	966,000	703,233	262,767	702,725	
	その他	161,000	133,321	27,679	130,823	
	支出総額	9,870,000	8,010,735	1,859,265	8,462,296	0
収支差額	0	0	0	0	0	

3. 総合評価

自己評価

令和7年度以降の指定管理について、管理運営委員会は市との話し合いを行う中で、継続して運営していける組織体制・事業の見直しの検討を行なった。

- ・地域住民の高齢化とともに委員も高齢化している状況を考慮した、開館20周年を祝う事業などを行うことができた。
- ・クビアカツヤカミキリ虫の出現に危機感を持ち、駆除対策に力を入れた。
- ・数件の事故はあったものの、その都度適切な対応を行い大事に至ることはなかった。
- ・ソーラーシステムの設置やLED化により節電できているものの、さらに、利用者が不快に感じない程度に、空調機等の調整を実施するなど、経費の削減の取り組みに努めた。
- ・貸室・ロビー・トイレ等、常に清潔に保ち、利用者が気持ちよく利用できる環境の維持に努めた。

市評価

令和6年度においては、年度末に指定管理期間が満了を迎えることをうけ市と協議を行い、円滑に指定管理者の選定等の手続きを進めることができた。また次期指定管理業務に向けて持続可能な組織体制への見直しを行うなど、柔軟な組織運営が行われた。

事務処理については、令和6年度より本格的に稼働したキャッシュレス決済も適正に処理し、問題なく正確な会計事務を遂行された。また予約システムでトラブルが発生した際には、館長を中心に市担当者と共に連携し、大きな被害とならないよう務めた。

地域住民との交流については、自主事業として開館20周年記念事業を企画し、普段当館を利用する団体などに出演を呼びかけてプログラムを作成した。その結果、多くの地域住民が参加され、施設利用者と地域住民との交流を図ることができた。

施設管理については、定期的な清掃及び点検により施設内が清潔に保たれている。

予算執行については、自治会の会計監査役の監査を受け、承認を得るとともに、市職員による随時の検査を実施し、収支が適正に管理されていることを確認した。以上のことより、適正な管理運営がなされていると評価できる。

令和7年度においては、引き続き適正な施設管理に努め、利用者がより快適に利用していただくとともに、当該施設が地域の交流の場として地域の発展の一助となるよう管理業務を遂行されることを期待する。